

## 身体疾患合併症対応協力病院について

令和 8 年 1 月

千葉県精神保健福祉センター

精神科救急医療については、国の「精神科救急医療体制整備事業実施要綱」を基にした本県における医療施設の確保のための「千葉県精神科救急医療システム実施要綱」を定めている。

また、令和 3 年 3 月には、国が設置した「これからの精神保健医療福祉のあり方に関する検討会」の報告書が各自治体に示され、医療、障害福祉、介護等が包括的に確保された「精神障害にも対応した地域包括ケアシステム」の構築にも身体合併症救急医療の確保が必要とされた。

### 【本県の状況】

精神科救急医療における身体疾患合併症の対応については、本要綱第 8 条の 2「身体疾患合併症対応協力病院」に基づき「身体疾患合併症対応協力病院運営要領」を定め、平成 28 年 10 月 1 日より運用している。

**I 群：**救命救急センターを有する病院又は二次救急医療機関で、精神科病棟での身体合併症治療が可能な医療機関。現在、以下の 6 機関が登録している。

国立国府台医療センター(市川市)、成田赤十字病院(成田市)、

総合病院国保旭中央病院(旭市)、袖ヶ浦さつき台病院(袖ヶ浦市)、

新千葉県総合救急災害医療センター(千葉市)、 新東条病院(鴨川市)

**II 群：**常勤精神科医がおり、リエゾンによる一般病棟での身体合併症治療が可能な医療機関

現時点で登録なし

### ◎登録までの流れ

- ・医療機関管理者に受託可否の協議
- ・「受諾書(様式第 1 号)」及び「身体疾患合併症対応協力病院登録票(様式第 1 号の 2)」を提出
- ・千葉県精神科救急医療システム連絡調整会議で検討する。
- ・精神保健福祉センターから登録の通知を送付し、協力病院としての登録が完了する。
- ・登録期間は原則 3 年。更新はその都度確認する。

### ◎登録後の役割等

- ・救命救急センターや二次救急医療から対応医療機関紹介の依頼があった場合は、精神科救急情報センターにおいて状況を確認後、「身体疾患合併症対応協力病院登録票(様式第 1 号の 2)」に基づき、登録病院に依頼し、協力病院は受入等について検討する。

### 【補足】

- ・精神科救急情報センターに依頼が入った事案のうち、身体合併症を併発している患者で、身体的な重症度が切迫している場合は、至近の救命救急センター等の一般救急の受診を優先させる。
- ・本登録は、身体合併症患者への対応の依頼があった際に、対応可能な科や窓口を明確にすること、精神科と他科の連携や協議をしやすくなること、身体合併症を有する精神科救急患者への治療がより適切に行われることを目的としている。